

<ちょこっとコラム 56>

(礼拝用語 その⑥)

シメオンの賛歌 *Nunc Dimittis*

2月2日の被献日に読まれる福音書（ルカ 2:22-40）には、赤ちゃんのイエス様が清めの期間を終えたマリアとヨセフに連れられてエルサレム神殿にお宮参りをした出来事が描かれています。神殿には、神から約束された救い主の到来を長い間、心から待ち望んでいたシメオンという信仰深い人がいました。彼は幼子イエスを腕に抱き、心から神を賛美しました。神の救いをその目を見た彼は安心し、満ち足りてその生涯を閉じることができるその喜びを歌います。その歌は、教会に大切に受け継がれ、伝統的に夕の礼拝や就寝の祈り、また通夜の祈りの中で唱えられます。